

Press Release

2026 年 9 月 29 日

AI ネイティブ開発と AI エージェントの業務実装で企業変革を支援 オーケストレーション基盤へ進化する intra-mart 最新版をリリース

株式会社 NTT データ イントラマート

株式会社 NTT データ イントラマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：中山 義人、以下、イントラマート社）は、エンタープライズ・ローコードプラットフォーム^{※1}「intra-mart[®]」の最新版（2026 Autumn）を 2026 年 10 月 1 日にリリースします。今回の最新版では、生成 AI を活用したシステム開発から、AI エージェントを業務プロセスに組み込み、ヒトと AI がそれぞれの役割を担いながら業務を進める環境まで、企業における AI 活用を一つのプラットフォーム上で支援します。これらの機能強化により、これまでのローコード開発を中核とした基盤から、ヒトと AI、業務を一つにつなぎ、それぞれが連携しながら業務プロセスを動かす、オーケストレーション基盤（Enterprise AI Orchestration Platform）へと進化します。企業の業務変革を支援し、企業価値のさらなる向上に貢献します。

企業における生成 AI の活用が広がる中、AI は文章生成や情報検索などを支援するツールから、目的に応じて情報を収集・判断し、業務実行を自律的に担う AI エージェントへと進化しています。AI エージェントを企業の業務で活用していくためには、AI を単独のツールとして利用するだけでなく、既存のシステムやデータとつなぎ、一連の業務プロセスの中でヒトと AI がそれぞれの役割を担いながら連携して動く環境が必要です。こうした背景を踏まえ、2026 Autumn では、開発プロセス全体を高度化する AI ネイティブ開発と、AI エージェントの業務プロセスへの組み込みを中心に機能を強化します。

▼AI ネイティブ開発へ（Accel Orbit） ～システム開発プロセスそのものを AI とともに変える～

生成 AI によって、コード生成そのものは急速に効率化しています。一方で、企業のシステム開発では、企業固有のルールや設計思想、既存システムの仕様を踏まえながら、設計・実装・テスト・リリースまでを一貫した統制下で進める必要があります。2026 Autumn では、AI との対話を起点に、設計からコード生成、テスト、リリースまでをつなぐ AI ネイティブ開発（開発の各工程を AI が横断的に支援する開発スタイル）の基盤を強化します（Accel Orbit）。開発者が一つひとつの工程を手作業で積み上げるのではなく、AI が企業固有の開発ルールやシステム仕様などを理解し、開発プロセス全体を支援できる環境を提供し、従来の開発スタイルと比較して 10 倍以上の開発生産性を実現できます。

【主な機能・強化ポイント】

・設計書をもととしたコード生成と AI ネイティブ開発への拡張

外部設計書・内部設計書・テスト仕様書をもとに AI がコードを自動生成し、設計と実装の整合性をたかめることで、手戻りの削減と開発期間の短縮を実現し、開発生産性の向上に貢献。今後は、設計書の作成を含む上流工程にも AI ネイティブ開発を拡張し、企画・要件定義から実装までを一貫して支援することで、開発生産性の一層の向上を目指す。

・開発環境を刷新

従来の開発ツール「e Builder」を、エンジニアの利用実績が多い汎用エディタ Visual Studio Code へ移行し、使い慣れたエディタや拡張機能を活用した生成 AI 開発を可能にすることで、AI との親和性と開発生産性の向上を実現。

- ・企業の"開発ノウハウ"を AI の力に変える

画面と外部システムをつなぐ接続仕様（API 仕様）や、データの格納形式（DB スキーマ）、社内のコーディングルール、サンプルコードなどを AI が参照し、企業固有のルールや仕様を踏まえたコード生成を支援し、品質のばらつきを抑え、レビュー・手戻り工数の削減に貢献。

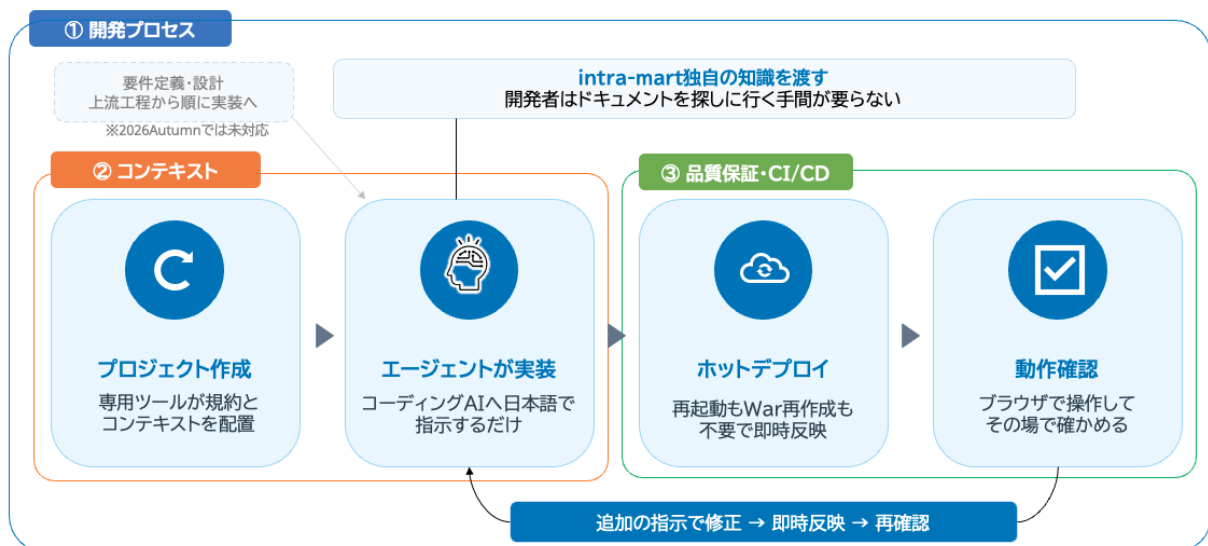
- ・テスト工程を自動化

実装と同時にテストコードを生成するテスト駆動開発の仕組みを提供し、プログラムの一部分ごとの動作確認（ユニットテスト）からユーザー確認（E2E テスト）までを自動実行。品質確保とテスト工数削減を実現。

- ・繰り返し開発の自動化

動作確認後、追加の指示で AI がコードを自動修正、即時反映。これによりシステムリリース後の修正開発コストを最小化。

【AI を活用した開発プロセスイメージ】



▼ヒトと AI と業務を、ひとつに動かす（Accel Agent）

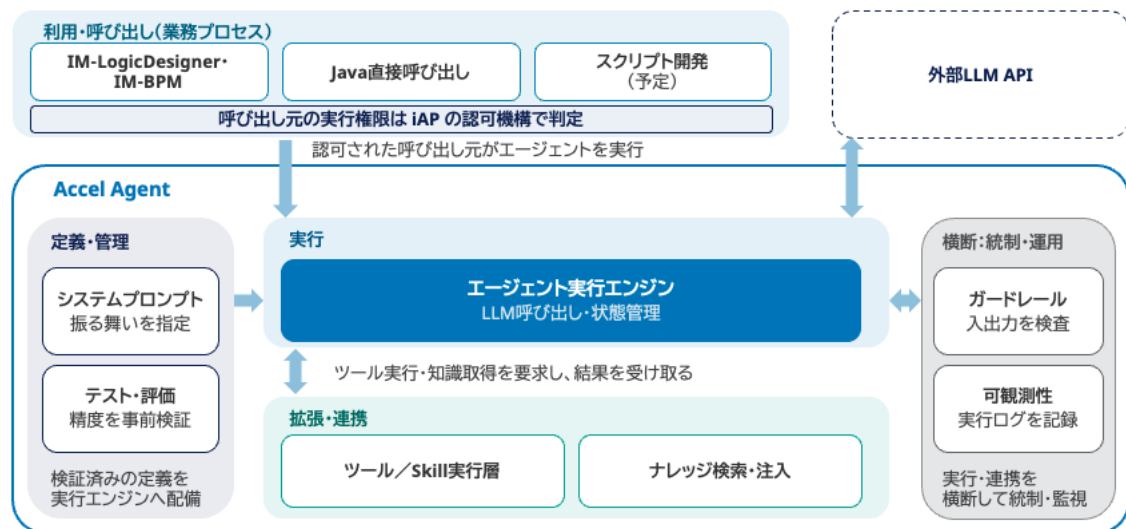
AI の活用領域がシステム開発から企業の業務そのものへ広がる中、AI エージェントをお客様自身で作成・運用でき、アプリケーションや業務プロセスに組み込む「Accel Agent」を新たに提供します。業務処理の流れを組み立てる「IM-LogicDesigner」や、複数部署にまたがる承認・処理の流れを管理する「IM-BPM」「IM-Workflow」と組み合わせることで、AI が状況に応じて自ら判断・処理を実行しながら業務を進めるエージェンティックワークフローを企業統制コントロールのもとで実現します。これにより、ヒトと AI が役割を分担しながら業務を進める新たな AI 活用を支援します。また、「intra-mart」が備える権限管理の仕組み（認可機能）と組み合わせることで、AI エージェントにもどの情報にアクセスできるか、どの処理まで任せるかといった、企業のルールに沿った権限設定が可能です。利便性とガバナンスを両立しながら、企業の業務への AI 活用を支援します。

- ・ AI エージェントの業務プロセスへの組み込み

・安心して使うためのガバナンス・ガードレール・可視化機能

- ・現場が無理なく導入できる段階的な移行

【機能領域の役割】



AI に任せられる業務を広げ、ヒトがより重要な判断や創造的な業務に集中できる環境を実現することで、既存の業務資産を刷新することなく企業の競争優位へ転換し、企業の競争力強化を支援していきます。

<https://www.intra-mart.jp/whats.html>

■株式会社NTTデータ イントラマートについて

株式会社NTTデータ イントラマートは、Web システム構築のための商用フレームワーク製品「intra-mart」の開発および販売を中心に事業展開しています。1998 年より、当社が企画、開発した独自のシステム開発フレームワーク、業務コンポーネント群、アプリケーションシリーズは、2026 年 3 月末時点で 13,000 社を超える企業へ導入されており、200 社以上のパートナーと共に、システム構築、コンサルティング、教育、運用支援に至るまでのトータルソリューションを提供しています。

社 名 : 株式会社NTTデータ イントラマート
代表者 : 代表取締役社長 中山 義人
設 立 : 2000 年 2 月
資本金 : 7 億 3,875 万円
売上高 : <連結>146 億 5,600 万円 (2026 年 3 月期)
従業員数 : <連結>508 名 (2026 年 3 月末時点)
事業内容 : 「intra-mart」の企画・開発・販売・保守およびその導入に関するコンサルティング・システム開発・教育の提供。
H P : <https://www.intra-mart.jp/>

本件に関するお問い合わせ先	
企業・一般の方	報道関係の方
株式会社NTTデータ イントラマート	株式会社NTTデータ イントラマート
SMC 事業本部	経営戦略室
E-mail : contact@intra-mart.jp	E-mail : info@intra-mart.jp

※「intra-mart」は株式会社NTTデータ イントラマートの登録商標です。
※その他記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の商標、又は登録商標です。
※Visual Studio Codeは米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。